

新型コロナ感染 急拡大 どう抑えこむ?

感染拡大が止まりません。ところが政府はなんの対策もとらず、自治体まかせ。国民には“旅行や帰省は自分でよく気をつけて”というだけです。



感染震源地での集中検査を政府に申し入れる志位和夫委員長（中央）と田村智子政策委員長（右）7月28日、内閣府

エピセンター
「**感染震源地**」に住む人、働く人すべてを対象に

PCR検査の 抜本的強化を

感染力をもちながら無症状の人たちが繁華街などに集まり、知らず知らずに感染を広げ、「感染震源地」となって、さらに県をこえて拡大—いまの感染急拡大の仕組みです。震源地で働く人、住む人すべてを対象にしたPCR検査を実施し、感染者を見つけ出すことが急務です。

目的は**“無症状でも感染力もった人”**の発見

休業要請は**補償とセット**で 要請をする以上、損失を公的に補償するのは当然です。

国会ひらき、すぐ対策の検討を

制度解説

衆院選挙
投票方法

比例代表は「**日本共産党**」と書きます
小選挙区は「候補者の名前」で

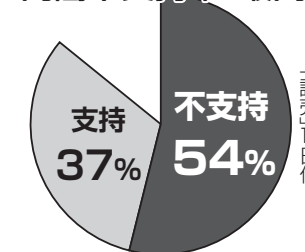
衆議院比例代表は政党名で投票します。参議院と違い個人名は無効です。

国民に苦しみ「最長」2799日

見放される安倍政権

安倍首相の連続在任日数が8月24日で2799日となり、歴代最長になりました。国民にとっては最長の苦しみを強いられ

内閣不支持率 最高



「読売10日付」



た7年8カ月です。

新しい政治に転換を

憲法と平和でも暮らしと経済でも民意に反する史上最悪の暴政を続ける安倍政権。いま新型コロナウイルス対応の無策ぶりに国民の怒りが広がっています。

各種世論調査では、「読売」（10日付）の内閣不支持率は第2次政権で最高（グラフ）。NHK（11日放送）は支持率が34%と最低で、「京都」（24日付）は「コロナで迷走、信頼揺らぐ」と報道。安倍政権は国民に見

日本共産党

放されつつあります。

「森友」「加計」「桜を見る会」など安倍首相の「国政私物化」は極限に達していますが、首相は説明責任を果たしていません。これで首相を信頼できるはずがありません。総選挙に向け市民・野党の共闘を発展させて安倍政治を終わらせ、新しい政治への道を開きましょう。（裏面に続く）

近畿民報

2020年8月 No.5 (第426号)
発行/日本共産党国会議員団
近畿ブロック事務所

〒537-0025 大阪市東成区中道1-10-10ホクシンピース102号
Tel.06(6975)9111 Fax.06(6975)9115
Eメール:jcpkinki@cronos.ocn.ne.jp

※日本共産党は以上の見解を
発表しました。